

地域の文化発信

文化公演

松浦市文化協会主催による文化公演が2月16日、東部交流センターで開催されました。

この日は、各地区で活動している松浦・福島・鷹島の文化団体が一堂に会し、フラダンスや社交ダンス、和太鼓などを披露しました。

会場を訪れた人たちは、それぞれの発表に熱心に聞き入り、大きな拍手を送っていました。



地域のお年寄りをおもてなし

地域で楽しむ昼食会&音楽祭

市内各地で一人暮らしのお年寄り・高齢者との昼食会が開催されました。2月20日には今福地区社会福祉協議会と今福公民館の共催による昼食会ならびに今福町音楽祭が東部交流センターで開催されました。

昼食会では、70歳以上の一人暮らしのお年寄りとは80歳以上のお年寄りの約150人が招待され、参加者たちは、準備されたお弁当を味わいながら、友人たちのおしゃべりを楽しみました。

また、音楽会では園児たちが肩たたきやメッセージカードをプレゼントする場面もあり、参加したお年寄りたちは、終始にこやかな表情で楽しいひとときを過ごしていました。



まちの話題

Matsuura City Topics

すてきな音楽を奏でるために

第4回まつうら音楽コンクール

松浦音楽連盟（浦順平理事長）が主催する第4回まつうら音楽コンクールが2月11日、文化会館で開催されました。

大会には市内外から約250人が参加。中学校・高校・大学一般の部門ごとにソロとアンサンブルの部に分かれ、家族や友達が見守る中、緊張した表情を浮かべながらも堂々とした演奏を披露しました。



百歳の誕生日をお祝い

石川トメ子さん

石川トメ子さん（志佐・西山）が2月12日、100歳の誕生日を迎えました。

若いころは、農業に従事し米やたばこを作るほかに、牛の世話などをして忙しい毎日を送っていました。70歳からは友人と一緒にゲートボールを始め、時には遠征試合に出掛けて交流を楽しんでいました。

この日は入所中の愛光園で、友広市長からお祝いの言葉や花束を受け取りました。



命について考える

「いのち」の講演会

助産師の内田美智子さんによる講演会が3月5日、御厨小学校体育館で開催されました。

「いのちをいただいて つなぐこと」を演題に、胎児の成長過程をスライドで見せながら、母親の思いや生まれてきたことの尊さ、いのちの大切さが講演されました。

会場には御厨小・大崎小・田代小・御厨中の児童・生徒や地域の人たちが訪れ、内田さんの講演を真剣な面持ちで聞き、中には涙を流す人もいました。



日本の伝統音楽に挑戦

今福小6年生の雅楽体験

日本の伝統的な音楽の一つである雅楽の体験授業が3月6日、今福小学校で行われました。

宮廷音楽として知られる雅楽は、複数の管・弦・打楽器で構成され、世界最古のオーケストラともいわれています。

この日は、地元の今福神社の協力を受け、市内外で神職を務める3人の奏者を講師に招き、6年生の児童24人が、管楽器にあたる笙・篳篥・龍笛の演奏を体験しました。

子どもたちは、日ごろ見慣れない楽器と独特の音色に興味津々の様子で、体験した中島匠吾君は「難しかったけど良い経験になりました」と感想を話しました。



おかげさまで3周年

松浦お3時プロジェクト

松浦お3時プロジェクトの3周年を記念した新商品の発表・試食会が2月23日、志佐商店街の休憩案内所みなくで行われました。

同プロジェクトは、松浦の特産品を生かした市を代表するお菓子を作りたいとする菓子職人の思いからスタートし、現在は7人の職人により松浦の新スイーツの創作が進められています。

3周年を迎えた今年のテーマは“原点回帰”。第5弾となる新商品は、第1弾で使ったマーコットオレンジを使用し、さわやかな香りと甘酸っぱさが魅力のお菓子となりました。

試食会では、開始直後から次々に市民が会場を訪れ、出来たてのお菓子をじっくりと味わっていました。



市の花「ツバキ」に親しもう！

福島つばき祭り

第41回福島つばき祭り（松浦福島つばき会主催）が3月1・2日の両日、福島武道館と武道館前お祭り広場で開催されました。

会場では、ツバキの盆栽や鉢物の展示、ツバキの花苗販売と園芸指導、ツバキを題材とした小中学生の絵画展、特産物の販売などが行われ、訪れた人たちは興味深く展示物を眺めたり、地元の特産品を買い求めたりして祭りを楽しみました。

また2日目は、ツバキの群生林散策やツバキの植樹祭も行われるなど、ツバキの魅力が満載の2日間となりました。

